

# 平成27年度 京都市立砂川小学校教育の構造図

## 学校教育目標 『自ら学び 自らを鍛え 「絆」を大切にする 砂川の子』

目指す教職員像
○『すべては、子どものために』を合言葉に、一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
○プロとしての自信と誇りを持ち、学び、成長し続ける教職員
○子ども・保護者・地域の実態から謙虚に学び、確かなビジョンを持つ教職員

目指す子ども像
○「時」を大切にし、今は何をするときか よく考えて行動する子
○「絆」を大切にし、ともに伸びようと努力する子
○「命」を大切にし、心と体を鍛える子

目指す学校像
○子どもの豊かな育ちと学びの成長のために、家庭・地域の「絆」を強め、元気で笑顔あふれ活気のある温かい学校
○健康で安全、うるおいと規律のある学校
○市民ぐるみ地域ぐるみの教育の核として、家庭・地域に信頼される学校

教師力の向上
--------

重点項目
子どもの主体性と社会性の育成につながる「言語活動」と「協働活動」

学校力の向上
--------

『時』を大切に 学ぶ力を育てる教育の推進
・基礎基本の徹底と活用力の向上 ・言語活動の充実、コミュニケーション能力の育成に向けた授業改善 ・学校図書館を自ら学ぶ場とし、学習・読書活動における主体的・意欲的な学びへ向けた展開の工夫 ・外国語活動(英語)におけるコミュニケーション能力の育成 ・「個」に応じた指導の徹底 ・「わかる喜び」と「学ぶ楽しさ」を感じとができる授業づくりの推進 ・LD等支援や配慮の必要な子どもについての共通理解と指導体制の充実 ・家庭学習の充実と徹底 ・指導方法の工夫と改善 ・指導に生かす学習評価の充実 ・問題解決的な学習や探究活動の充実 ・主体的な探究の過程を大切にした各種学習活動の充実 ・伝統文化、環境教育、食育等の充実

確かな学力

『絆』を大切に たくましく生きる力を育む教育の推進
・「しなやかな道徳教育」の充実と実践 ・「道徳の時間」の遵守と教科化を見据えた取組の推進 ・規範意識の育成に向け、自己肯定感、自己有用感を高める指導の工夫 ・スマイル(たてわり)活動の充実 ・学年・学級経営の充実 ・「絆」を大切にし質の高い「集団づくり」 ・「つけたい力」を明確にした見通しある学年・学級経営の推進 ・工夫を凝らし、細心の注意を払った上での手間暇かけた取組の推進 ・生徒指導体制のさらなる充実 ・的確な児童理解、機を逃さない指導 ・子どもに寄り添う姿勢 ・「学校いじめ防止基本方針」に基づく学校体制としての実践の推進 ・不登校(別室登校)、児童虐待等に対する適切な対応と関係機関との連携 ・「交流・共同学習」の推進

豊かな心

『命』を大切に 健康で安全に楽しく学べる教育環境づくりの取組
・子どもの命を守り切る体制の強化と安全教育の充実 ・「命」の大切さを実感できる人権教育のさらなる推進 ・「見守りボランティア」等、交通安全・防犯の取組の協働体制の推進 ・運動やスポーツの実践と体力向上 ・「大文字駅伝大会」支部予選突破に向けた取組の推進 ・保健教育の充実 ・望ましい生活習慣の形成 ・自らの健康を保持増進しようとする意識と態度の育成 ・食に関する指導の推進 ・きめ細かい給食指導と「食育」の充実 ・学校予算の計画的な執行 ・学校独自の取組の推進 ・スマイル面談による課題共有 ・皆勤賞授与による皆勤率アップ ・「さと・まちコラボ」の取組の推進

健やかな体

すべては 子どものために!

